

産業廃棄物処理計画書		2024/6/26
静岡県知事 殿		
提出者		
静岡県富士宮市根原411-3		
株式会社ブッチーフาร์ม		
佐々木洋充		
090-7619-8315		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。		
事業場の名称	株式会社ブッチーフาร์ม牧場	
事業場の所在地	静岡県富士宮市根原411-3	
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
① 事業の種類	酪農業	
② 事業の規模	160頭	
③ 従業員数	6人	
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	動物の死体→処理業者へ委託 動物のふん尿→自ら中間処理(堆肥化)した後、再生利用 廃棄プラスチック→処理業者へ委託	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項					
(管理体制図) 統括責任者 事業主 廃棄物担当者 事業主 契約書等書類担当者 事業主					
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項					
①現状	【前年度（令和5年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	動物の死体	動物のふん尿	動物のふん尿（業者）	廃棄プラスチック類
	排出量	69.60 t	2770.9 t	416.0 t	0.00 t
	(これまで実施した取組) 特になし				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	動物の死体	動物のふん尿	動物のふん尿（業者）	廃棄プラスチック類
	排出量	30.00 t	2805.5 t	416.0 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし				
産業廃棄物の分別に関する事項					
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 動物の死体、ふん尿、廃プラスチック類を分別して他の廃棄物と混在しないようにする。				
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 同上				

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	2354.9 t	—
	(これまでに実施した取組) ふん尿を自ら中間処理（堆肥化）し、自己所有地や借地に還元、耕種農家等へ提供する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	2389.5 t	—
	(今後実施する予定の取組) 同上		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（           年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	—	—
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	—	—
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項					
①現状	【前年度（            年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	-	-	-	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	-	-	-	
	(これまでに実施した取組)				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	-	-	-	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	-	-	-	
	(今後実施する予定の取組)				
産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
①現状	【前年度（令和5年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	動物の死体	動物の糞尿（業者）	廃プラスチック類	
	全処理委託量	69.60 t	416.00 t	0.00 t	
		優良認定処理業者への処理委託量	-	-	-
		再生利用業者への処理委託量	69.60 t	416.00 t	0.00 t
		認定熱回収業者への処理委託量	0	-	-
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	-	-
	(これまでに実施した取組) 契約業者に対して処分を委託した。				

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	動物の死体	動物の糞尿(業者)	廃プラスチック類
	全処理委託量	30.00 t	416.00 t	0.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0	-	-
	再生利用業者への処理委託量	30.00 t	416.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0	-	-
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	-	-
	(今後実施する予定の取組) 契約業者に対して処分を委託する。			
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

静岡県富士宮市根原411-3  
 郵便番号 418-0101  
 氏名 株式会社ブッチーファーム  
 代表者名 佐々木洋充  
 電話番号 090-7619-8315  
 2023年度産業廃棄物量

(法人の場合)

ア ふん尿の発生量  
 イ 運搬依頼した死亡牛の重量の合計(マニユフェスト)  
 ウ 廃プララスチック類の重量の合計  
 エ ア+イ+ウの合計  
 オ マニユフェストのふん尿の合計量  
 アーオ

2770.9  
 69.6  
 0.0  
 2840.5  
 416.0  
 2354.9

→ 交付枚数 20 枚  
 → 優良認定業者の処理委託量  
 → 再生利用業者の処理委託量  
 → 優良認定業者の処理委託量  
 → 再生利用業者の処理委託量

0  
 0  
 416  
 0

汚泥 0 トン

カ 2024年度の排出量計画の策定  
 キ 家畜排泄物の発生量  
 ク 死亡牛の重量の合計  
 ケ 廃プララスチック類の重量の合計  
 コ カ+キ+クの合計  
 カーク マニユフェストのふん尿の合計量  
 カーク

2805.5  
 30  
 0.0  
 2835.5  
 416.0  
 2389.5

2024年度の事業規模  
 飼養頭数 160 頭  
 従業員数 6 人

2023年度の家畜排せつ物の量

(単位:t/年)

	平均頭数	1頭当たり排せつ物量		1年当たり排せつ物量		合計
		ふん	尿	ふん	尿	
乳用牛	115					
成牛	99	16.6	4.9	1636	483	2119
搾乳牛	16	10.8	2.2	177	36	214
乾乳牛	20	10.8	2.2	216	44	260
育成牛	20	6.5	2.4	130	48	178
子牛	155			2160	611	2771
合計						
肉用牛	0	6.5	2.4	0	0	0
2歳未満	0	7.3	2.4	0	0	0
2歳以上	0	6.6	2.6	0	0	0
乳用種	0			0	0	0
計				0	0	0
合計	155			2159.7	611.1	2770.9

2024年度の家畜排せつ物の想定量

(単位:t/年)

	平均頭数	1頭当たり排せつ物量		1年当たり排せつ物量		合計
		ふん	尿	ふん	尿	
乳用牛	110					
成牛	95	16.6	4.9	1577	466	2043
搾乳牛	15	10.8	2.2	162	33	195
乾乳牛	30	10.8	2.2	324	66	390
育成牛	20	6.5	2.4	130	48	178
子牛	160			2193	613	2806
合計						
肉用牛	0	6.5	2.4	0	0	0
2歳未満	0	7.3	2.4	0	0	0
2歳以上	0	6.6	2.6	0	0	0
乳用種	0			0	0	0
計	0			0	0	0
合計	160			2193.0	612.5	2805.5